



図書館だより

令和2年7月

広尾学園中学校・高等学校 図書館

司書教諭 曾我部

★ 来週 7/20 から 電子図書館 はじめます！

全国で緊急事態宣言は解除されましたが、感染症リスクに配慮して学校や公共の図書館ではまだ返却しかできない、事前に予約した本しか借りられない、そんな息苦しい状況が続いています。広尾学園図書館でも読書環境を守るため1ヵ月無料体験できる「School e_Library」(電子書籍サービス)を活用したり、データベースの学外利用を可能にしたりといろいろ模索する中で、今後の状況変化に備え紙の本と並行して新たに電子書籍が読める「**電子図書館**」(librariE)をつくる準備を進めてきました。

終業式の日から順次、みなさんに**電子図書館の URL と「ID・パスワード」**を Gmail で連絡します。

電子図書館の ID は各自が持っている **図書カードの番号(7桁)** と同じです。

パスワードは変更できません。 各自でしっかり管理してください。(忘れたらすぐ図書館に連絡を！)

最初にトップ画面:メニュー横の「ご利用ガイド」を必ず読むようにしてください。

<電子書籍:貸出条件>

- ・貸出冊数 : 1冊まで
- ・貸出期間 : 1週間
- ・貸出延長 : 1回 (予約が入っていない本に限る)

<電子書籍:予約条件>

- ・予約上限数 : 2冊まで
- ・予約取り置き日数 : 3日間

自宅にいても本を借りられるのが電子図書館の魅力です。新刊・小説・文学系(青空文庫も含む)、教科に必要な本はもちろんですが、受験に必要な本、探求や研究活動に必要な資料など、電子書籍でもみなさんの学習を支援していくための本を充実させたいと考えています。読書や学習の質を高めるツールとしてもぜひ活用してみてください。

電子書籍の購入希望も「図書リクエスト」フォームから受付中。

<https://forms.gle/igad56FKWf1LhzU28>



★ Hirogaku Digital Library、ここがおススメ！！

～青空 in browser～

青空文庫の本が電子図書館で手軽に読める☆

「青空文庫」とは著作権が消滅した作品や、著者が許諾した作品を公開しているネット上の電子図書館です。そこに収録されている作品を、縦読みで読むことができる機能がついているのが「**青空文庫 in browser**」。「青空文庫」は何人でも同時に読めるのでログインの必要は**ありません**。PC・タブレット・スマホから待ちなしですぐに前回の続きから読むことができます。電子図書館のトップ画面、目立つところに載せておきました。横のイラストをみて文豪の名前がスラスラ言える人も、言えない人も、ぜひ気軽に文学先品に触れてみてください。

～ 特集コーナー ～

気になるテーマで本を紹介☆

トップ画面の上に「特集」という表示があります。そこでは話題性のあるテーマに関連する本をまとめて紹介しています。例えば国語科の先生方が100冊選んでくださった「国語科の推薦図書」、中1・高1に向けて「新入生におすすめする本」、感染症に関連する本をまとめた「感染症を知ろう」など。順次、新しいテーマを設けて更新していきますのでまめにチェックするようにしましょう。

～ ジャンルで探す～

分類別以外のジャンルもお勧め☆

トップ画面左側に「ジャンルで探す」という表示があります。本を分類別（文学・歴史・社会科学・自然科学など）にまとめているので自分が読みたいジャンルの本を探すときにとても便利です。分類別以外にも「池上彰さんの本」「疲れたときに読む本」「小論文・面接対策」「勉強に行き詰まったら…」など、みなさんの関心の高いジャンルを作って本を探しやすくする工夫をしています。読みたい本が見つからないときには「ジャンルで探す」を参考にしてみてください。

～ 学習漫画 ～

なかなか侮れない学習参考書☆

電子図書館では学習漫画も読めるようにしました。トップ画面左側の「ジャンルで探す」の中に「学習まんがで苦手手を克服!」という欄があります。古典・漢文・日本史・世界史・政経・地理まで。たかが漫画と侮ることなかれ。定期試験対策から受験勉強にも役立つ目から鱗の充実ぶりです。電子図書館の本はすべて試し読みができるので、借りる前に一度中身を確認してみてください。

★ 夏休み開館&閉館について

例年通り、図書館では期末試験最終日から「夏休み貸出」を始めました。

【貸出冊数】 1人5冊（5シリーズ）まで

【貸出期間】 7月9日～9月1日



上・中・下巻やシリーズ物に限り、まとめて貸出すことができます。

返却日は2学期の始業式の日(9/1)です。

涼しい部屋の中で、旅先で、読書三昧もなかなか良いものです。

借り過ぎに注意しながら、この機会に読みたかった本を読破してみてください。

なお、7月15日(水)・16日(木)・7月21日(火)・22日(水)・8月17日(月)～8月20日(木)

・8月22日(土)・8月24日(月)～26日(水)の夏期講習期間中は図書館を開館します。

開館時間は 9:00～15:00 です。(8月上旬は蔵書点検のため閉館します)

静かな図書館は読書だけでなく、夏休みの課題をするにも最適です。

感染症対策に努めながら開館しますので、学校の図書館も大いに活用してください！

『桜の森の満開の下』

文学まちがい探し

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください

愛する女と一緒に、住み慣れた山に帰ることにした男。山の中で女を背負い、初めて二人が出会った日のことを思い出します。幸せな気分になった男は、避けていた満開の桜の森の中を恐れずに歩いていきました。



『黄金虫』の まちがい探しの答え

- ① 觸腕の角 ② クモ ③ ネクタイ
④ 財宝の剣 ⑤ 犬の尻尾



『桜の森の満開の下』

坂口安吾

日本では、春になると桜の木の下で花見に興じる姿が風物詩になっています。しかし桜は、開花の短さや散り際から、人の命のはかなさなどにも例えられてきました。そんな桜と死のイメージを強く感じさせる物語が、坂口安吾（一九〇六～一九五五）の『桜の森の満開の下』です。

昔、峠に住みついた山賊が主人公。怖いもの知らずの男でしたが、満開の桜の下を通ると気が狂うと信じていて、桜の森だけは怖がっていました。ある日、

旅人を殺して美女を奪い女房にしたことで運命が一転。美しく残酷な女の虜（こゝろ）になります。女の要求はエスカレートし、都へ出て言われるまま人殺しをくり返すように。やがて二人で山へ帰ることになり、満開の桜の森を通りぬけようとしています。ふと振り返ると、背負っていた女が醜い鬼になっていて……。

作者の安吾はあるエッセイで、戦争の最中にも桜の花が咲いているのを見て、とても異様な気がして忘れられない、と述べています。桜と死は彼の中で離れがたいものだったのでしょう。

間違い探しの正解は次回の図書館だよりに載せます☆